

令和4年度 学校経営概要

輪島市立河原田小学校

1 学校経営方針・教育目標

(1) 学校経営の基調

石川県教育振興計画の基本理念「未来を拓く心豊かな人づくり」をめざし、知・徳・体の調和のとれた教育を実施し、健やかな体と豊かな心を持ち、自らの夢の実現に向かって未来を力強く切り拓いていくとともに、豊かな人間関係を築くことができる、たのましい児童の育成に努める。

(2) 学校教育目標

健やかで自ら学ぶ心豊かなたくましい児童の育成

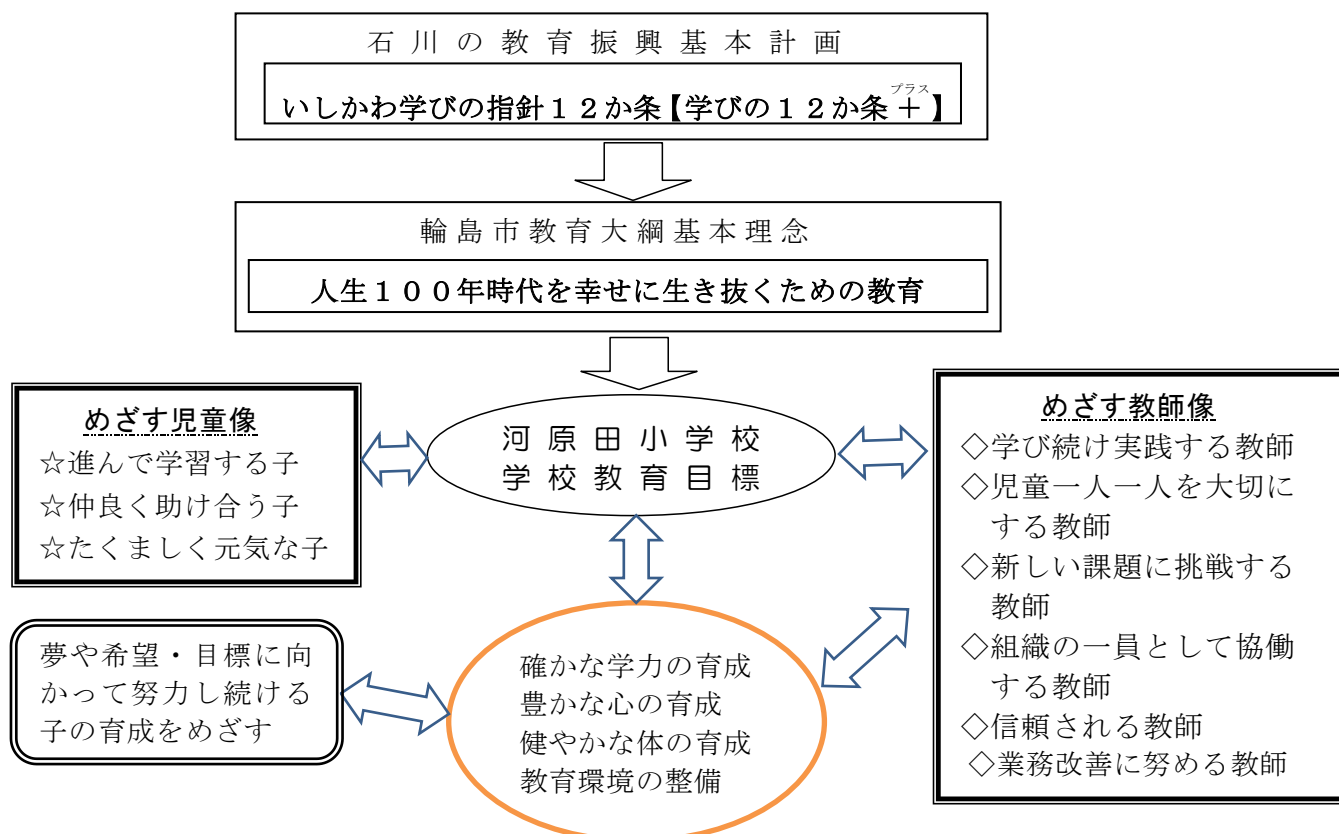
(3) 学校教育方針

保護者や地域の人々から信頼される「地域とともに歩む学校」づくりを推進し、児童一人一人の成長と幸福を願い、「知・徳・体の調和のとれた、活力ある児童」の育成をめざす。

(4) 学校教育重点目標

- ①課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学び、表現する子の育成〈知育〉
- ②豊かな心をもつ子の育成〈徳育〉
- ③健やかな体、体力のある子の育成〈体育〉
- ④特別支援教育への理解を深め、個に応じて行う支援体制を構築〈特別支援教育〉
- ⑤児童の安全対策の推進〈防災教育〉
- ⑥自らの役割を自覚した、組織としての学校づくり〈研修と組織的な学校運営〉
- ⑦信頼される学校経営と開かれた学校教育の推進〈地域・家庭との連携〉

(5) 学校教育目標の具現化に向けての構想図



2 具体的努力事項

(1) 課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学び、表現する子の育成〈知育〉

- ①基礎学力の確実な定着（学力テスト結果分析、全校テスト、ドリルタイム、ノート指導、掲示用ホワイトボード活用、既習掲示、家庭学習の習慣化）
- ②自ら課題を発見し、個々の学びから協働の学びへと繋がる、伝え合い学び合う力の育成（学校研究による授業改善、授業評価表による各自での改善）
- ③「思考力・判断力・表現力」等の活用力の育成（基本・活用・適用問題の確実な実施）
- ④個に応じたきめ細かな指導の充実（チャレンジタイム・授業での個別指導、家庭との緊密な連携）
- ⑤主体的・対話的で深い学びの実現（ペア・グループ形態による対話の場の工夫、表現力向上、児童集会での学級発表、外国語・外国語活動のG Tとの連携）
- ⑥授業研究を中心とした研修と子どもの学びを支える学習指導の充実（校内研修、要請訪問、校内研修サポート事業）
- ⑦指導力向上・学力向上の取組を組織的かつ継続的に推進できる体制づくりと、安定的な学力向上システムの確立（学力向上プラン・学力向上ロードマップ）
- ⑧学級経営目標を位置づけた、意欲的に学習できる学級づくり（授業に集中できる環境の構築、安全・安心、仲間・居場所づくり）
- ⑨学習におけるICTの効果的な活用（授業での着実かつ計画的な活用、年間計画によるプログラミング学習の確実な実施、デジタル教科書を取り入れた授業、GIGAスクール構想の推進、クロームブックの授業・家庭での計画的な活用、オンライン授業に向けての研修）
- ⑩複式授業における有効な学習方法の追求（複式授業解消講師との綿密な情報交換、学習リーダーの育成、授業の相互参観による複式授業の進め方の共通理解・情報交換）

(2) 豊かな心をもつ子の育成〈徳育〉

- ①道徳の時間を要とした、学校生活における道徳的実践活動の推進（「特別の教科 道徳」の授業の充実、地域人材の活用）
- ②地域の自然・文化・歴史を学ぶ体験活動等を通した社会形成能力を育む活動の充実（花壇の世話、米作り、輪島塗沈金体験、遠足、粉川寺）
- ③社会性や勤労観・規範意識を育むための活動の充実（職員室入室マナー、場に応じた挨拶、返事・感謝・謝罪の言葉、縦割り活動、無言清掃、生活チェック、3校合同遠足・宿泊体験活動、地域の各種施設訪問）
- ④問題行動の未然防止・早期発見・早期対応等生徒指導の充実と、相談体制の充実、居場所づくり（河原田小学校スタンダード、生活調査、いじめアンケート・QUテスト、個人面談、児童理解の会、スクールカウンセラー・いじめ対応アドバイザーの活用、発達支援室等関係諸機関との連携、児童会活動）
- ⑤心を育てる活動の充実（朝読書・家庭読書等読書活動、輪島市立図書館・わじま電子図書館との連携、今月の歌、児童作品の掲示、図書ボランティアによる読み聞かせ）

(3) 健やかな体をもつ子の育成〈体育〉

- ①体育指導の充実による体力向上（鉄棒・マラソン・縄跳び運動、スポチャレいしかわ）
- ②主体的に体力づくりに取り組む子の育成（運動会、1校1プラン、陸上運動、一輪車、水泳、マラソン大会、縄跳び集会）
- ③自らの心と体を大切にする保健指導の推進（消毒・マスク・換気・密回避等の新型コロナウイルス感染症対策、歯の健康指導、薬物乱用防止教室、ケガ・病気の予防）
- ④基本的な生活習慣の形成（早寝・早起き・朝ご飯、ノーゲームデー、長期休業中の健康観察）
- ⑤食育と給食指導の充実（給食指導、給食マナー指導、食物アレルギー対応）
- ⑥「いのち」を大切に、危険を予知・回避する能力の育成（避難訓練、交通安全教室、防犯教室、登下校指導、情報モラル教育）

(4) 特別支援教育についての理解を深め、個に応じた行い支援体制の構築〈特別支援教育〉

- ①発達障害の内容についての理解を深め、合理的配慮を考慮し、個に応じた支援体制
- ②教室の環境整備推進による、児童一人一人の学習意欲の向上
- ③積極的な専門相談員の招聘と、児童理解の会の充実
- ④特別支援の要素を取り入れた学級経営の充実と、保護者との連携
- ⑤全教職員による共通理解と、支援体制の構築

(5) 児童の安全対策の推進〈防災教育〉

- ①災害・不審者対策の徹底及び危険予知と回避能力を高める防災教育の充実
- ②学校内のルール・マナーを徹底した、安心・安全に生活できる学校環境
- ③通学路の安全点検による、児童の登下校の安全確保（児童安全育成委員会との連携）
- ④「危機管理マニュアル」の周知・検証、改善に努める（危機管理マニュアル）

(6) 自らの役割を自覚した、組織としての学校づくり〈研修と組織的な学校運営〉

- ①教師集団でベクトルを合わせ、組織力を発揮する教育活動の推進
- ②校務分掌に積極的に取り組み、各主任が相互の連携を密に行う円滑な学校運営
- ③「報告・連絡・相談」の徹底と全校指導体制の充実
- ④教職員としての自覚をもち、自らの資質・能力の向上のため積極的に行う校内研修
- ⑤若プロを推進し、組織的に行う人材育成
- ⑥時間外勤務の縮減への意識改革と業務改善

(7) 信頼される学校経営と開かれた学校教育の推進〈地域・家庭との連携〉

- ①適切な学校運営と全教職員の創意工夫による魅力ある学校づくり
- ②家庭・地域と連携した学校教育（PTA活動、公民館活動、地域の諸団体との連携）
- ③地域の保育所・小学校・中学校との連携
- ④児童・保護者・教職員による評価と、学校評議員・学校関係者による学校評価
- ⑤広報活動（学校だより、学級だより、保健だより、給食だより等）
- ⑥学校ホームページによる、迅速かつ詳細な情報公開
- ⑦保護者に対しての、電子メール網によるフレキシブルできめ細やかな連絡体制